

ひとり親世帯むけ  
食支援

# ヨコ食ギフト報告書

たくさんの“ありがとう”届いています



# はじめに

私たち横浜市社会福祉協議会は「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなで作ります」という活動理念のもと、住民やボランティア、市民団体の方などとともに地域福祉活動を展開しています。

社会的セーフティーネットによる支援の輪は広がっていますが、その枠組みに入ることができず困難な状況にある人が、この横浜にも大勢います。

新型コロナウイルス感染症の影響により、今まで以上に、その問題が明らかになり、明日食べるものにも困っている方の声が多く寄せられました。

横浜市社会福祉協議会では、寄付を通じて横浜で困っている誰かを支え、困ったときには支えてもらう取組「ヨコ寄付」を進めています。

今回は、皆様からの寄付により実施した「ひとり親の家庭への食支援」についてご報告いたします。

横浜で安心して暮らしていける仕組みづくりに、皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願いいたします。



## ヨコ寄付

ヨコハマで、すぐヨコへ。

助けを待っている人は世界中にいる

横浜にも、私たちのすぐ隣にもいる

コンビニで見かけるあの人かもしれない

子どもと同級生のあの子かもしれない

すぐヨコにいる人のための寄付

横浜どうしで支えあう寄付

社会福祉法人  
横浜市社会福祉協議会



# 背景

横浜市における「ひとり親世帯に含まれる世帯員のなかで、貧困線を下回る生活する方の割合」は45.6%とされています。\*1

コロナ禍においては、59%が収入減、11%が収入なしとの調査結果\*2もあり、新型コロナウイルス感染症対策等により、ひとり親家庭の家計状況の深刻さが伺えます。

横浜市社会福祉協議会では、これまで生活困窮により、食べるものに困っている方への支援を行ってきました。

\*1 「横浜市子どもの貧困対策による計画」より

\*2 NPO法人「しんぐるまざあず・ふぉーらむ」実施アンケートより

「横浜市子どもの貧困対策に関する計画」より抜粋

図表 2-1 貧困線を下回る世帯で生活する子ども等の割合

指標	横浜市 市民アンケート調査
世帯に含まれる18歳未満の子どものうち、貧困線を下回る世帯で生活する子どもの割合	7.7%
世帯に含まれる24歳未満の子ども・若者のうち、貧困線を下回る世帯で生活する子ども・若者の割合	7.7%
子どもがいる現役世帯のうち大人が一人の世帯に含まれる世帯員のなかで、貧困線を下回る世帯で生活する方の割合	45.9%
子どもがいる現役世帯のうちひとり親世帯に含まれる世帯員のなかで、貧困線を下回る世帯で生活する方の割合	45.6%

# 現状調査

ひとり親家庭の現状を把握するため、横浜市母子寡婦福祉会やひとり親の世帯にヒヤリングを行いました。

「コロナではっきりと収入が落ちました。」

「相手方が失職したこともあって、養育費が大幅に減ってしまっています」

「転職先がコロナで内定取り消しになり、貯金を取り崩しています」

「切り詰められるとすれば食費ですが、もう削れるところがほとんどなくて…」

などの声が寄せられました。



# 企画

ヒアリングをふまえて、子どものいるひとり親世帯に食品を届ける取り組みを企画し、寄付金を募ることにしました。

## <企画内容>

- ◆市内在住で18歳未満の子どもがいるひとり親世帯 500世帯へ3人10日分の食料品を提供
- ◆子育てや仕事などの実情をふまえ、宅配便により指定された住所へお届け
- ◆食品とともに、ひとり親に関する相談機関・支援機関の資料を同封
- ◆食のバリエーションと食品ロス削減を意識し「フードバンクかながわ」の協力による食料品も封入
- ◆「仕事が減ってしまった」という障害者作業所の声を受け、梱包作業を業務委託し「障害のある方の職」を支援

※梱包作業は、よこはま障害者共同受注総合センター「わーくる」を通じて「そよかぜ南の家」に依頼しました。



**ヨコ寄付のヨコ食ギフト**

新型コロナウイルス感染症の影響で食に困っている横浜のひとり親家庭に食料品をお届けします

配布予定食品（数量に限りありの予定です）  
 ●お米（玄米） 3kg  
 ●3人3日分の冷凍食品をお届けします

※配布はイメージです

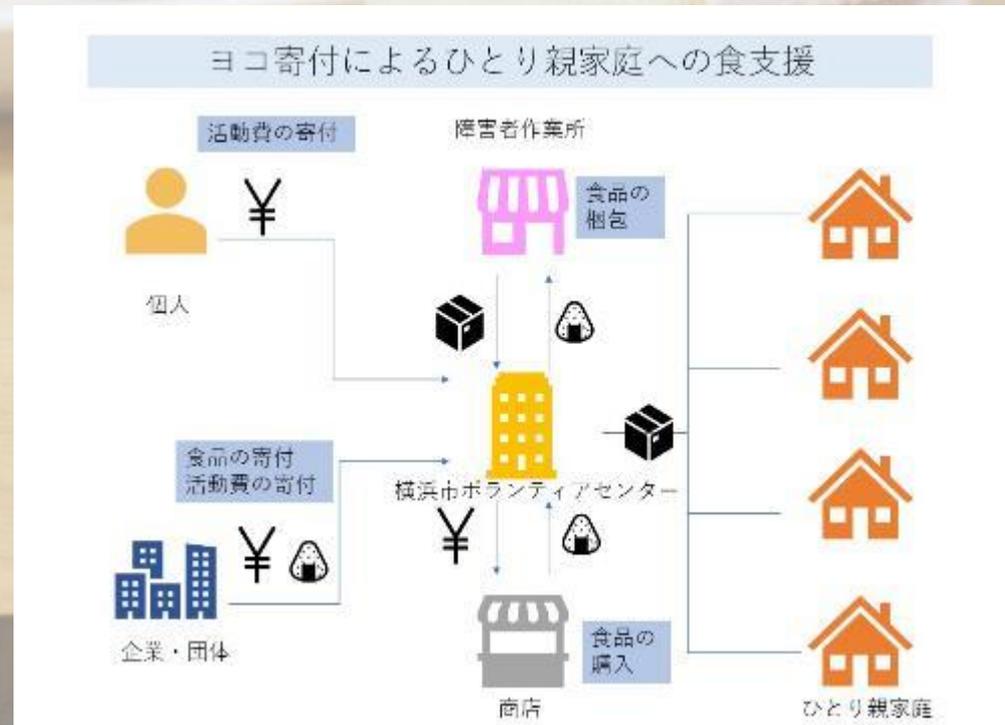
文：新型コロナウイルス感染症の影響により食に困る方々への支援としてひとり親家庭500世帯への3人3日分の食料品をお届けします

申込：  
 ①市の二次元コードから申し込みください  
<https://bit.ly/37ZWSjh>  
 ②QRコード、住所・電話番号・子どもの年齢  
 ③確認メールが届きます  
 ④メールで届く食品で食料品が宅配便で届きます  
 ※申し込みの多い場合は届かない場合があります。  
 ※ご購入の多くは個人情報は、募集対象の範囲が広がれば他の指定等、お申込にかかる事項で変更し、ご本人の許可なく他の目的で活用することは致しません。

ツイッターでも案内中 #ヨコ寄付

支 店：社会福祉法人 横浜の社会福祉協議会 横浜ボランティアセンター  
 電 話：045-201-8420  
 メール：yoko@yokohama-welfare.jp  
 開館日：平日9:00~17:00以上受付でお問い合わせください

ヨコ寄付



# ヨコ食ギフトの流れ

寄付の受付開始

《目標金額200万円》

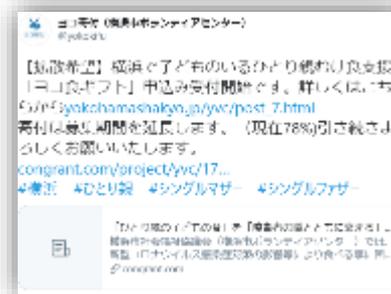


予期せぬコロナ禍で  
お困りの方々が、  
1日も早く復活されるよう、  
皆で応援しましょう！

コロナの影響で  
大変な方たちに直接届くよう  
『ヨコ寄付』を選びました。  
一緒に乗り越えていきましょう

寄付とともに応援メッセージも届きました

ヨコ食ギフト受付開始  
SNS・チラシ等で申込受付



## 食品の調達

そよかぜ南の家のメンバーさんがフードバンクかながわへ食料品を調達。



## 梱包作業

たくさんの食品を箱いっぱい。多い時には3日で80箱を梱包することも。





### 目標達成

目標額を大きく上回る  
《総寄付金：4,073,400円》



お米やホットケーキミックス、カルピスのほかに、作業所で作っているお菓子も一緒にお届けしました



身体が不調でも、収入が減るので仕事を休めません。身体を壊してしまいたいそうです。

収入は減ったのに、休校で食費や光熱費が大幅に増え困っています。

### 宅配でご自宅へ

ヨコ食ギフトを計500世帯のお家へ届けることができました！

申し込みではたくさんの「困った」が聞かれました



メッセージカード作成  
1枚1枚色塗りやイラストは手書きで作成。



### 納品

出来あがった「ヨコ食ギフト」を納品していただきました。



## ヨコ食ギフトを受け取った方からの声

このたびは、たくさんの食料品を送っていただき、ありがとうございます！！

子供が夏休みに入り、**さらに食費がかかる**ところでしたので、本当に本当に助かりました！

コロナの影響で、ひとり親世帯だけでなく困っている人がたくさんいる中、助けて下さる方がこんなにもいらっしゃる事が嬉しくて、感謝の気持ちでいっぱいです！！

食だけでなく、**心も助けて**いただきました(\*^-^\*)

食料品をお送りいただきありがとうございます。お米やホットケーキミックス等、大変助かります。娘は**カルピスに大喜び**でした。

取りに行く場合、仕事を休んだり交通費がかかったりしますが、宅配だったので助かります。

可愛いお手紙や包装して頂いたおやつ。我が家にも知的障害をもった息子がいます。皆さんに負けないう頑張っていくかないと！

食は生活の一番基本で、大きな部分をしめます。心にも大きな影響を及ぼすので、食のサポートはとてもありがたいです。手書きのメッセージは、**心の栄養になりました。**

仕事から帰ってきて、ご飯作らなきゃ。お米が減ってきてるな、と考えていた時にピンポンが鳴り届きました。たくさんの食料、おかし、そして

**メッセージの紙。すごく励まされました**  
このご時世ですが頑張ろう！と改めて感じました。

箱を開けてビックリしました。宝がいっぱい！夏はカルピスですね。子どもの笑顔が目に見えびます。他にもたくさん！母も笑顔になりました。

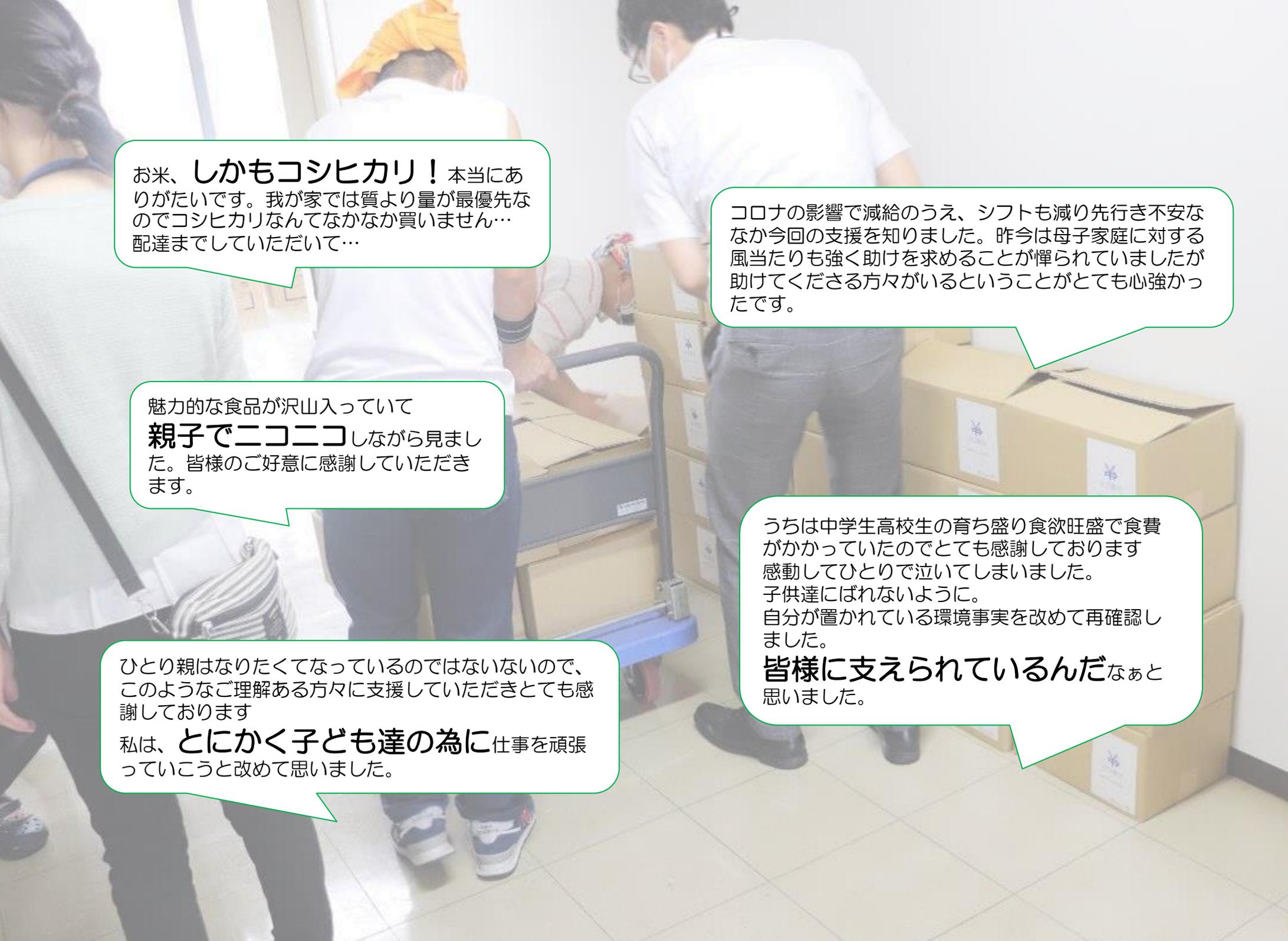
子ども達は開封した時に『わあ！』と声をあげ、私自身も見ず知らずの方々の善意がこんなにも嬉しいものだということを初体験いたしました。

頂いたメッセージを見て**ホロッと涙が出てきた**ことで、『思っていた以上に私は疲れ、心が弱っていたのだな』ということに気づきました。

皆様も大変な時期にありがとうございます。子供も誰からもらったの？と興味をもちママ達を助けてくれる寄付者がいる事を教えました。**凄いね、かっこいいね**と、私もいつか子供と一緒に誰かを人助けられる様に頑張ります。

子どもたちといつか自分たちがちゃんと稼げるようになったら、今度は**寄付する側にまわろう**と話しています。

普段は買えないような美味しそうなお米や、子どもが喜ぶおやつまで。。大切に頂きたいとおもいます。レトルト食品もとても助かります



お米、**しかもコシヒカリ!** 本当にありがたいです。我が家では質より量が最優先なのでコシヒカリなんてなかなか買いません…配達までしていただいて…

魅力的な食品が沢山入っていて  
**親子でニコニコ**しながら見ました。皆様のご好意に感謝させていただきます。

ひとり親はなりたくてなっているのではないので、このようなご理解ある方々に支援していただきとても感謝しております

私は、**とにかく子ども達の為に**仕事を頑張っていこうと改めて思いました。

コロナの影響で減給のうえ、シフトも減り先行き不安ななか今回の支援を知りました。昨今は母子家庭に対する風当たりも強く助けを求めることが憚られていましたが助けてくださる方々がいるということがとても心強かったです。

うちは中学生高校生の育ち盛り食欲旺盛で食費がかかっていたのでとても感謝しております感動してひとりで泣いてしまいました。子供達にばれないように。自分が置かれている環境事実を改めて再確認しました。

**皆様に支えられているんだ**なあと思いました。

子どもに、ちゃんと食事を食べさせてあげれます。  
子どもからも、朝、ご飯たべれるねって  
言われました。本当に助かります。

毎日働きながらの子育ても終盤戦に差しかかり、手間はかからなくなりましたが、金銭面や、自分が倒れたら困るなどの不安にさいなまれます。  
この支援が寄付によるものとなり、大変温かい気持ちになりました。

中に入っていたそよかぜ南の家さんのメッセージ、このような時期なのでお互い一緒に頑張らないと…味わっていただきました。

中学生と小学生のスポーツマン兄弟で、食費が凄いかかります。女の私には男の子の食欲をなめていました。  
親としてご飯だけは思いっきり食べさせたいとずっと育ててきましたが、

段ボールいっぱい詰めて下さって  
子供たちと一緒に宝箱を開けるときのようなドキ  
ドキワクワクしながら開封させていただきました☆

コロナで大変な時こそ、人とのつながり、ぬくもりが生きる糧になるんだと実感しました。

# メディア掲載

取り組みについて数多くのメディアに取り上げられました。新聞やタウンニュースを見てご寄付をくださった方も多くいらっしゃいました。

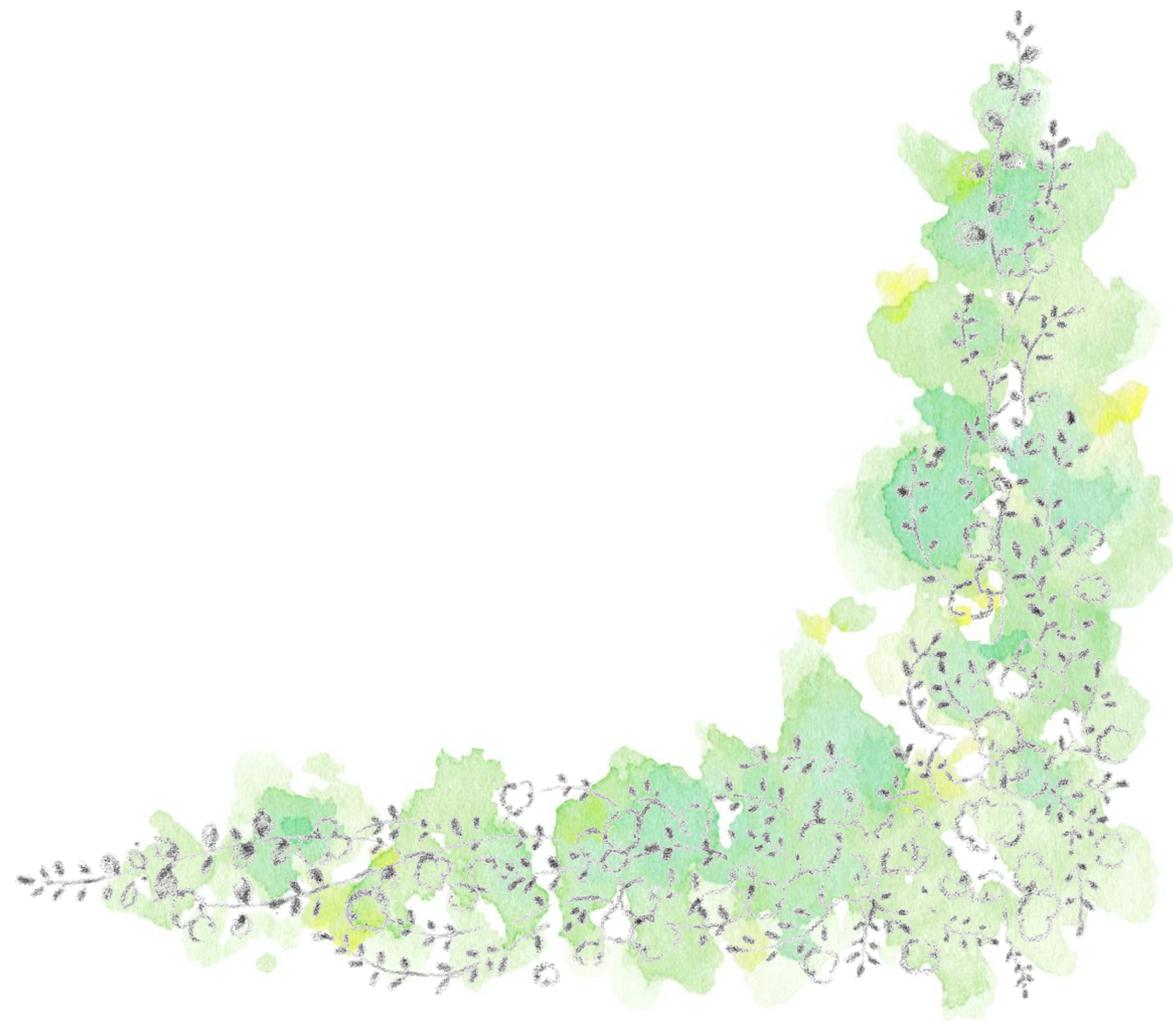
《掲載メディア一例》

毎日新聞（7月19日付）

朝日新聞（7月28日付）

神奈川新聞（7月30日付）

タウンニュース（南区版）（6月25日付）



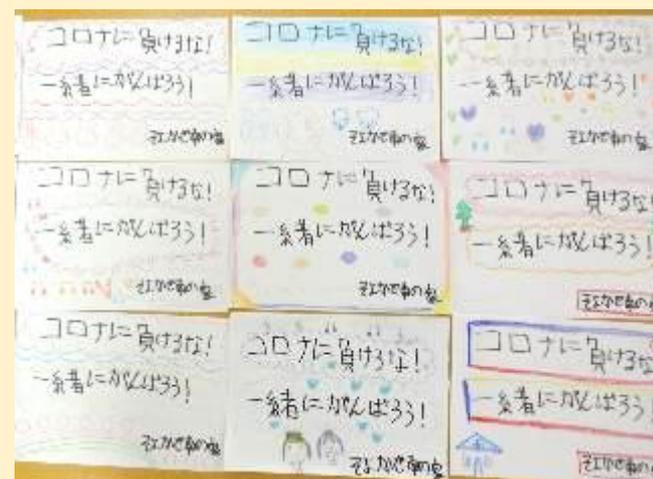
# 寄付をくださったみなさまへ

このたびは、ご寄付をいただきありがとうございました。  
 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、  
 この横浜でたくさんの方の困っている状況が伺え  
 とにかく一刻も早い支援をと、手探りの中での実施でした。  
 そんな中、予想を大きく上回るご支援をいただけたことは、  
 ひとり親世帯の皆さまだけでなく、私たち社会福祉協議会に  
 とっても非常に心強く、励みになりました。  
 今後とも、横浜のすぐヨコのささえあい「ヨコ寄付」に  
 あたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

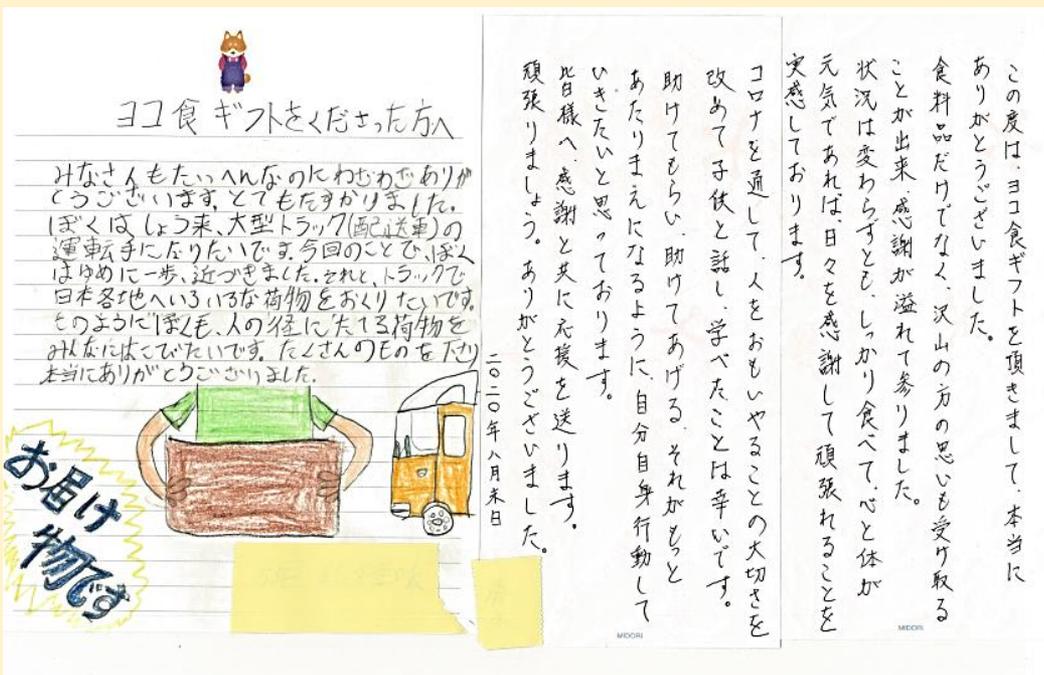
令和2年10月  
 横浜市社会福祉協議会 横浜市ボランティアセンター



## お届けしたメッセージカード



## 寄付者様に届いたお礼のお手紙





ヨコ寄付

ヨコハマで、すぐヨコへ。

